

# CIS

## 株式会社シーアイエスの 環境保全への取組

CIS Corporation 環境報告書2025

<https://www.ciscorp.co.jp/>



# 目次

1. 会社概要
2. 環境方針
3. 環境マネジメントシステム
  1. 環境保全体制
  2. 当社と環境の関わり
4. 環境保全への取組
  1. 2025年度行動計画と実績
  2. 2025年度環境データ（1）
  3. 2025年度環境データ（2）
  4. 2026年度行動計画
5. シーアイエスのSDGsの取組
6. コミュニケーション

# CIS 会社概要

社名	株式会社シーアイエス
代表取締役	村岡祐輔
創立	1978年9月1日
売上高	17億5,600万円（2025年8月決算）
社員数	92名（2025年9月時点）
業種	産業用カメラ、イメージングシステムの開発、製造、販売

## ■ 所在地

### 【本社・工場】

〒193-0834

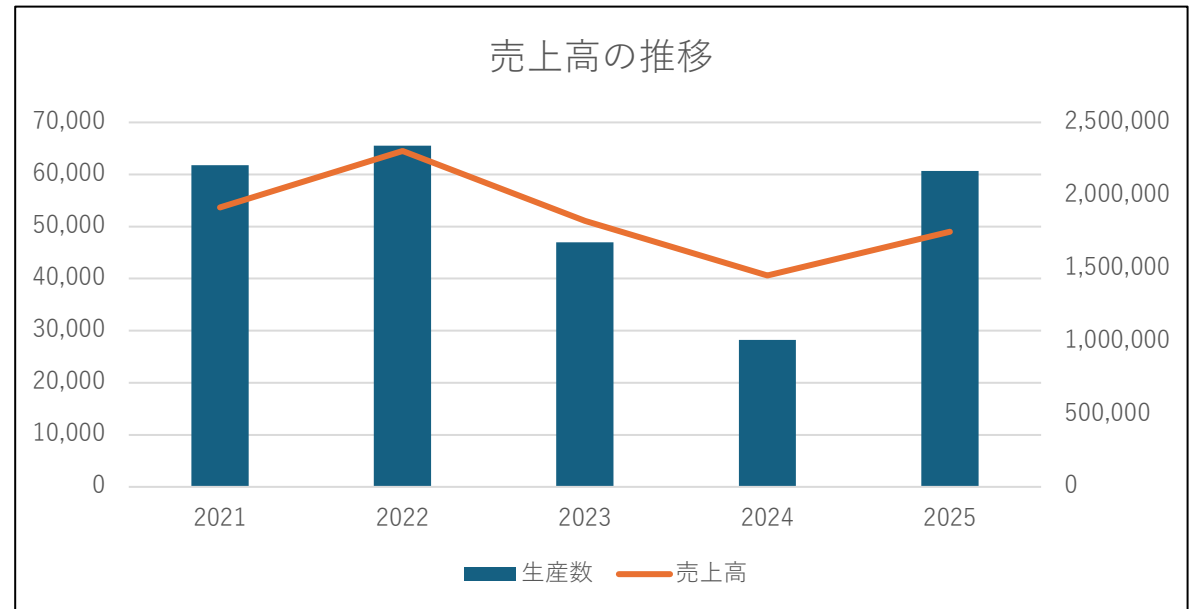
東京都八王子市東浅川町539番地の5

TEL 042(664)5535（代表）

### 【ソリューション開発センター】

〒164-0003

東京都中野区東中野5-5-5 徳舩ビル2階、3階





# 環境理念及び方針

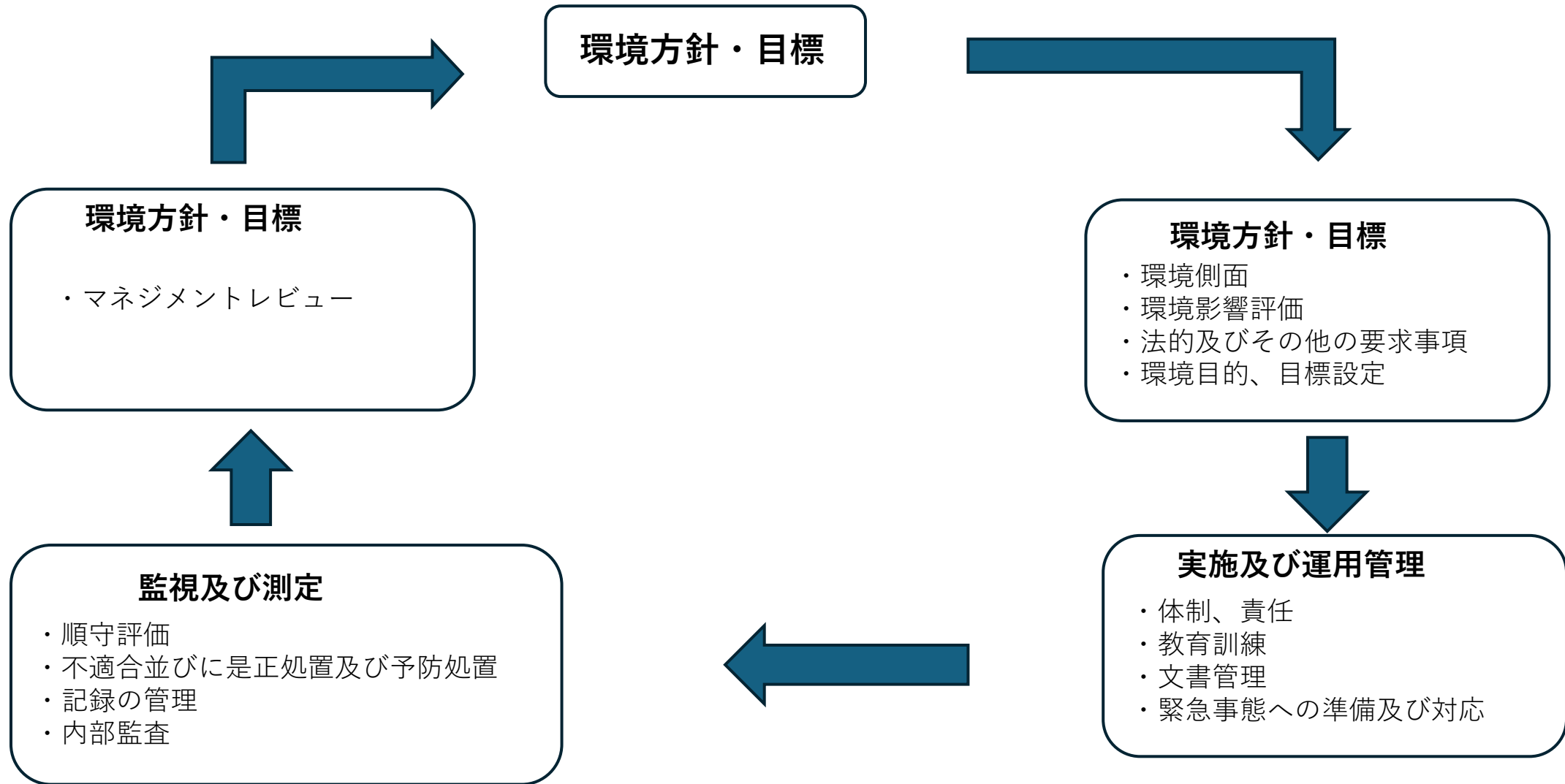
株式会社シーアイエスでは「地球環境を維持向上させ次世代に引き継いでいく」ことを理念として環境保全活動に取り組んでいます。

具体的には、地球環境に対する負荷低減のために、「環境保全に関する設計のための基準」を整備しております。

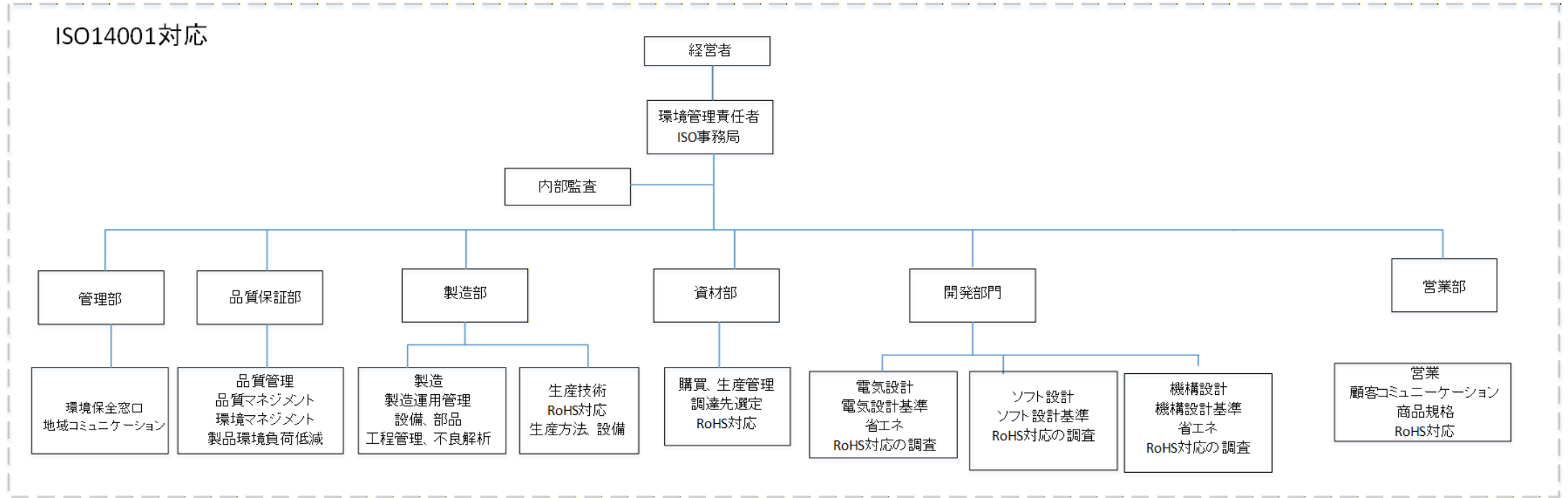
また、回路の共通化、低電力製品の開発、部品点数の削減の推進を行い、環境配慮型の開発、製品化に注力しております。

環境方針	
1	環境保全に関する法令、顧客要求を遵守します。
2	当社の事業活動が環境に及ぼす影響を調査・評価し、環境保全への阻害要因が認められる場合には、改善活動を実施します。
3	定期的な内部監査、マネジメントレビューにより、環境マネジメントシステムの維持、強化に努めます
4	常に省資源、廃棄物・環境関連物質の削減及び汚染の予防に気を配り、環境保全に努めます
5	環境に配慮した設計に努め、もの創りの視点から社会の持続的発展に貢献します。

# CIS 環境マネジメントシステム



## 組織表



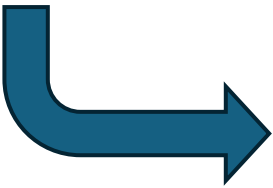
・環境側面の特定、登録及び運用上の不適合、その他環境に関わる全ての問題に対して、認識し、その是正処置に取組、改善を図ることにある。また、環境目標、年次行動計画に対する達成状況の確認を行います。

・内部監査は、環境マネジメントシステムが適切に運用維持されていることを年1回監査し、不適合があれば是正、推奨事項を提議して、システムの向上を図ります。

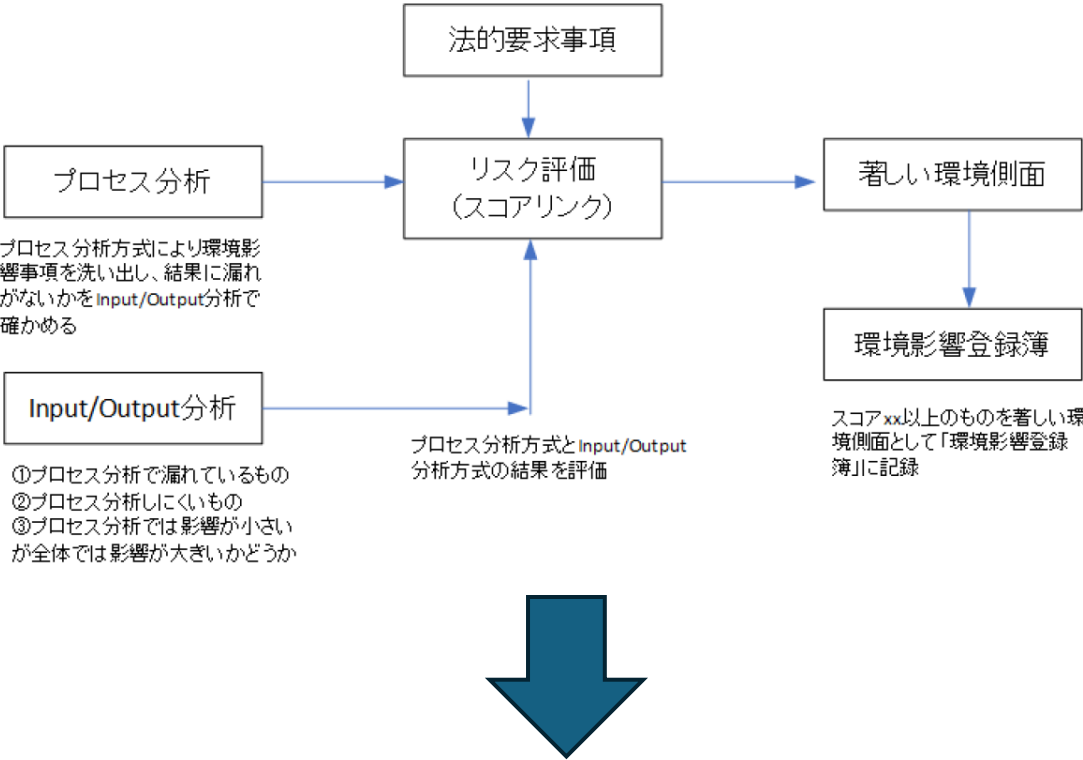
# CIS 環境保全体制

コード No.	規制区分					規制名称	改定・改正日	改正事項	規制事項	現状値
	法律	条例	業界	自社	海外					
① 大気汚染	○					大気汚染防止法	2022年3月		煤煙・粉じん・自動車排出ガス・特定物質が規制される。	対象施設なし
						大気汚染防止法施行令の一部を改正する政令	2025年10月	水銀排出施設の水銀濃度の測定及びその結果の記録が改正。	解体時における石綿の飛散防止のため、全ての石綿含有建材の事前調査結果報告の義務化。	旧社屋の工事発生時測定対策済み
		○				都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(東京都環境確保条例)	2020年4月		不適合のディーゼル車の規制、排気ガス規制・エコドライブ推奨・低公害、低燃費車の導入	ハイブリッド車を1台使用
	○					自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)	2007年12月		車種・総重量等によりNOxとPMの排出量が規制される。ガソリン車乗用車は対象外。	対象外
	○					化管法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)	2023年12月		PRTR制度／SDS制度。令和5年515と134物質に拡大。有害性のある多種多様な化学物質で一種指定化学物質のいずれかを1年間に1t以上取り扱う事業者が対象	該当製品の使用なし

法定要求事項一覧表（例）



著しい環境側面	環境影響	部門			
		管理部 情シス課	資材部 輸出管理部	製造部	品質保証部
電力消費	資源の枯渇・地球温暖化	○	○	○	○
廃棄物	土壌汚染・地球温暖化	○	○	○	○
紙消費	資源の枯渇・地球温暖化	○	○	○	○





# 環境保全への取組

2025年度 行動計画と実績

## 主な取組計画

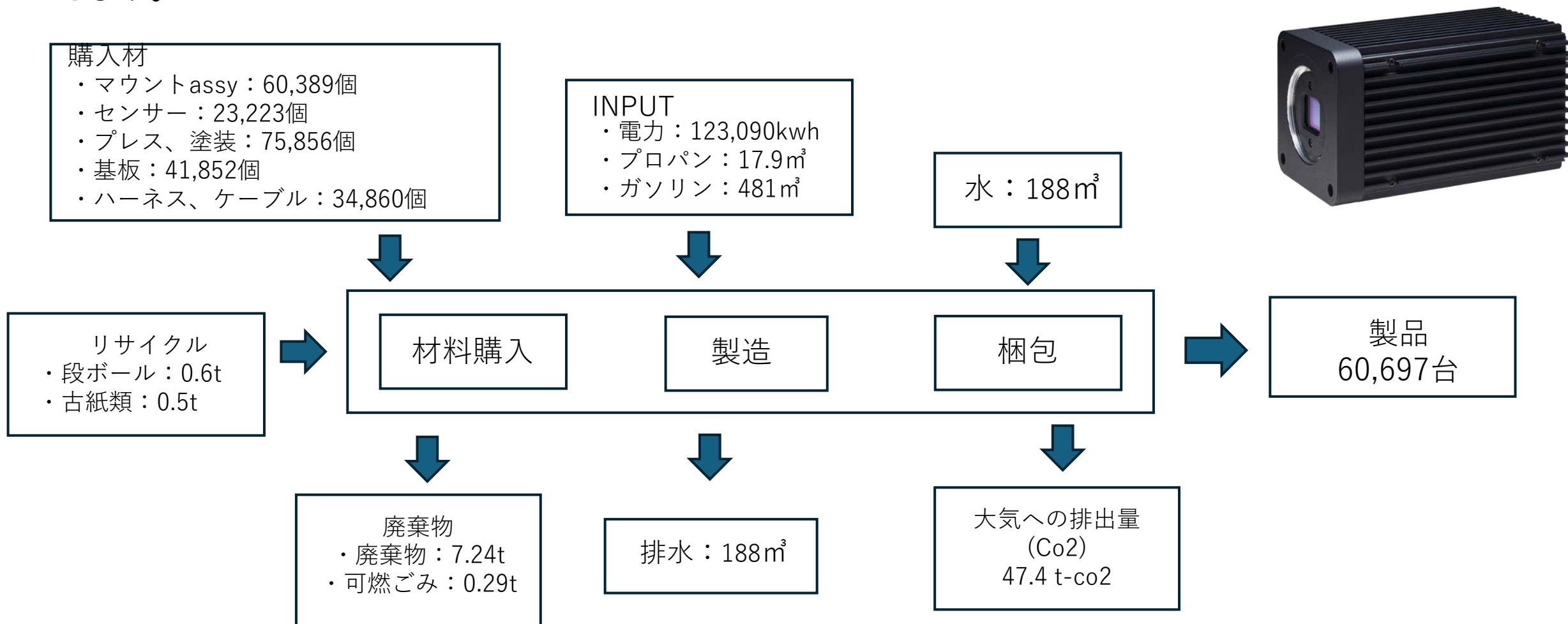
計画		対象/取組内容		実績	判定
品質	ユーザークレームゼロ	製品開発	プロジェクトの日程遅延を減らし、早期完了・早期市場投入	プロセス監視シートによる確認	○
	在庫削減、量産機種へのV		日程遅れに対するリカバリを行い、遅延対応	TeamGantt（Planner）で日程を監視し、2week以上の遅れに対し早急に対策を実施	○
環境	ISO14001対応フォロー（東中野の自主管理）	製品への環境	環境目標の設定及び関係書類の整備	東中野各部のISO14001内部監（製品環境を含む）を実施した	○
	廃棄業者の監視	資源消費低減 法令遵守	廃棄業者と最終処分迄のマニフェストを監視	電子マニフェストへの完全移行と産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出の電子化	○
	紙資源の消費削減	資源消費低減	目標紙使用量を1200枚とし、社内業務の電子化推進を行う	通期で1,413枚となり、、昨年より月平均111枚削減。来期も取組継続	△
	法令遵守	法令遵守	環境法令の発令について情報を入手し、適用遵守のため、社内対応	法的要求事項一覧表にて管理継続。2025年7月に見直し	○
	SDGsへの取組拡大	環境	気候変動（緩和・適応）への対応	年次行動計画にて管理	○
教育	ISO9001/ISO14001/製品環境品質の部内業務関連	ISO9001、ISO14001の要求事項や各マニュアルに沿って、規定・要領の見直しと運用推進		内部・外部監査ならびにISO会議、マネジメントレビューを実施。ISO9001とISO14001の内部監査員の増員を実施	○
	質の向上	社内講習会の実施		年18回実施	○



## 2025年環境データ (1)

当社が製品化するための、2025年のInput-Outputを下図に表しました。

生産は、昨年の上2倍以上となりましたが、電力消費は変化がありませんでしたが、廃棄物は増加しました。現在、進めているゴミの分別やリサイクルの推進など、廃棄物の減量化に努めています。



# CIS 2025年環境データ (2)

## 消費エネルギーの節減

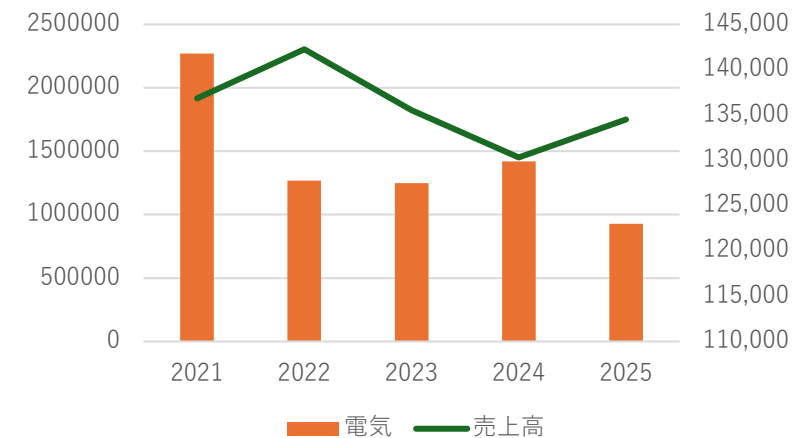
2025年の電力消費量は、夏場の高温、生産数の増大などがありますが、10%程度減少しております。

環境対応型エアコン、LED照明の導入等、電力使用量の削減を進めております。

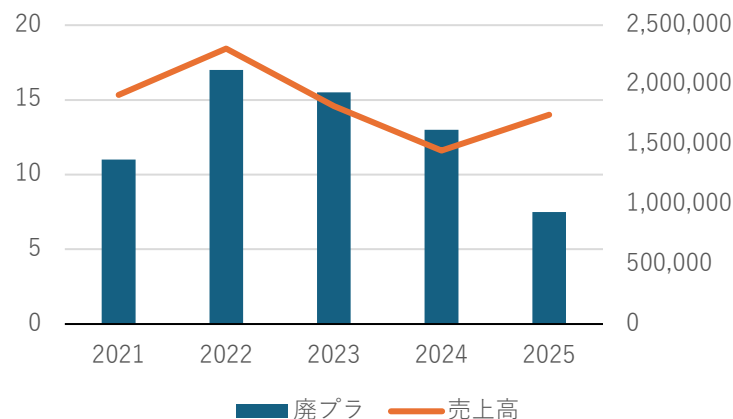
可燃、廃プラゴミについては、処分方法を含め、社内にて講習会を開催して、分別の強化を実施しており、削減に努めております。

段ボールについては、納入時の業者などへの返却や通い箱利用を行っております。

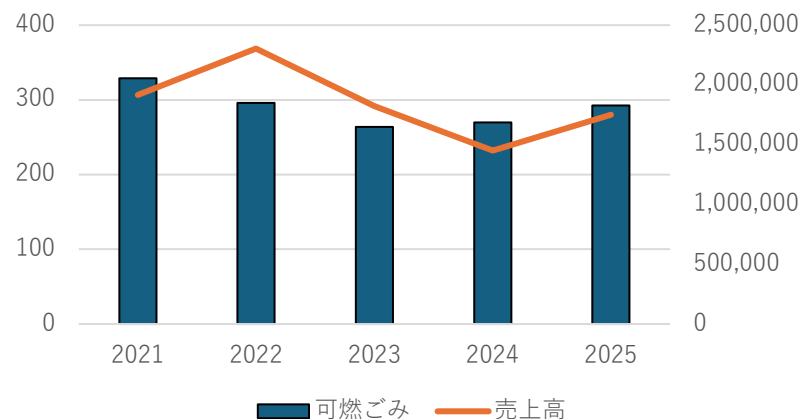
電気



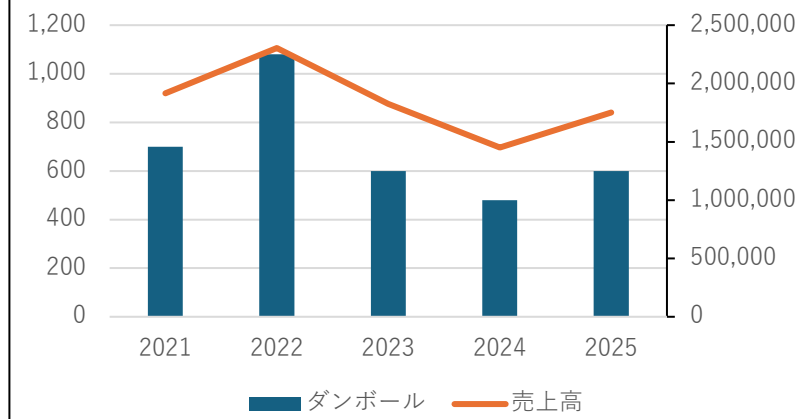
廃プラ



可燃ごみ



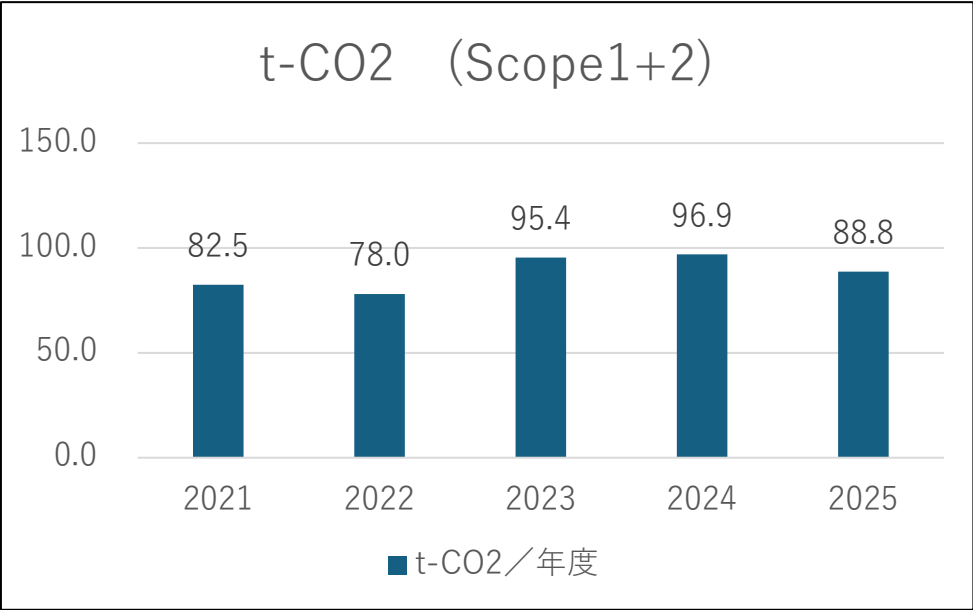
ダンボール



# CIS 2025年環境データ (3)

## GHG排出量

2025年のCO2排出量は、係数見直しを行った前年から削減し、88.8tco2となりました。  
地球温暖化防止への取り組みとして、CO2排出量を数値化し毎月社内配信を行い、全社的に意識を高め、削減に取り組んでいます。



Scope1,2	概要	CO2排出量 kg-CO2					算定方法
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
Scope1	生産	1,297.95	1,025.67	1,102.53	1,536.54	1,236.00	高尾工場におけるプロパンガスの燃焼および社用車で使用するガソリンにおいて、排出係数を用いて算出。
Scope2	生産	81,247.88	76,997.81	94,302.72	95,404.99	87,560.60	高尾工場およびソリューション開発センターでの電力エネルギー、また工場の水利用を排出係数を用いて算出。
合計		82,545.83 (82.5t)	78,023.48 (78.0t)	95,405.25 (95.4t)	96,941.53 (96.9t)	88,796.60 (88.8t)	

# CIS 2026年度 行動計画

## 2026年度の主な取引計画

◇2025年度の結果をもとに、ISO14001の推進、製品環境化学物質管理の強化、法令遵守、人材育成に重点をおいて計画しています。

計画		対象/取組内容		実績
品質	ユーザークレームゼロ	製品開発	プロジェクトの日程遅延を減らし、早期完了・早期市場投入	プロセス監視シートによる
	在庫削減、材料/製造の費用削減		日程遅れに対するリカバリを行い、遅延対応	Planner等で日程を監視し2week以上の遅れに対し早急に対策。
環境	ISO14001対応フォロー（東中野の自主管理）	製品への環境	環境目標の設定及び関係書類の整備	
	廃棄業者の監視	資源消費低減	廃棄業者と最終処分迄のマニフェストを監視	電子マニフェスト利用推進
	紙資源の消費削減	資源消費低減	目標紙使用量を1200枚とし、社内業務の電子化推進を行う	
	法令遵守	法令遵守	環境法令の発令について情報を入手し、適用遵守の為、社内対応をする。	法令遵守すること
	SDGsへの取組拡大	環境	気候変動（緩和・適応）への対応	年次行動計画にて管理
教育	ISO9001/ISO14001/製品環境品質の部内業務関連	ISO9001、ISO14001の要求事項や各マニュアルに沿って、規定・要領の見直しと運用推進		
	質の向上	社内講習会の実施		年18回以上の開催

## SDGs（持続可能な開発目標）の取り組み

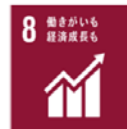
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



社内講習会の充実



LED照明設備の導入  
環境対応エアコンの導入



フルフレックスタイム制度導入  
テレワークの導入  
1時間単位での有休取得



産休・育休取得、介護への支援  
短時間正社員制度導入  
学校休業時の特別休暇の新設



製品への環境配慮  
低消費電力商品の開発



ペーパーレス化

## 環境コミュニケーション

当社は、環境保全活動及び環境マネジメントシステムに関して、内部及び外部コミュニケーションを推進しております。

- ・部内会議等で社員の意思疎通を推進
- ・環境月報を毎月、社内サイトに掲示し、情報を発信
- ・お客様からの情報による環境教育、グリーン調達活動の意識向上

## 苦情、事故の発生状況

行政への報告に該当する事故や行政罰などはありませんでした。

発生内容	件数
臭気に関する苦情	0件
騒音、振動に関する苦情	0件
大気に関する苦情	0件
土壌、水質に関する苦情	0件
地盤沈下に関する苦情	0件

## 苦情、事故の発生状況

環境保全活動及び環境マネジメントシステムを推進するため、社員の意識向上を図ることが大切だと考えています。2025年度も継続して、製品環境を含めた環境保全活動の教育をしてきました

年末に高尾本社周辺の美化活動を行いました



## リスクマネジメント

火事や震災など、自然災害に備えて、自衛消防隊を組織して、所轄消防署に避難訓練の実施報告をしております。BCPの策定や震災などの大規模災害発生時対応の講習会を実施したり、水・食料などの備蓄を行うようにしています。